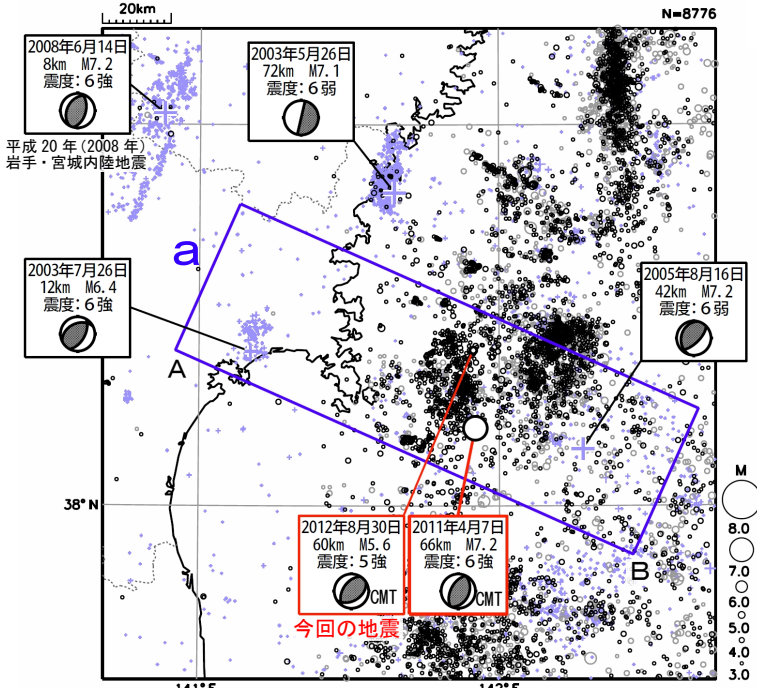


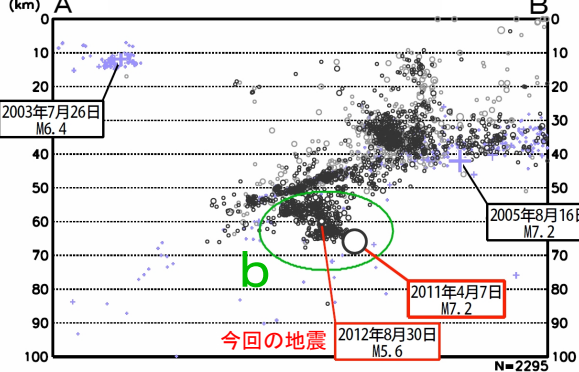
8月30日 宮城県沖の地震

震央分布図*

(1997年10月1日～2012年8月31日、深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
 東北地方太平洋沖地震より前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○、2011年4月7日の宮城県沖の地震 ($M7.2$) 以降に発生した地震を濃い○で表示

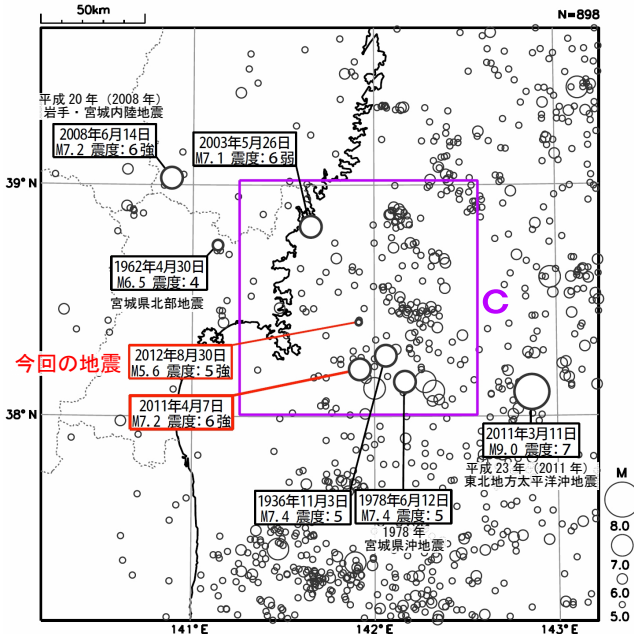


領域a内の断面図* (A-B投影)



震央分布図

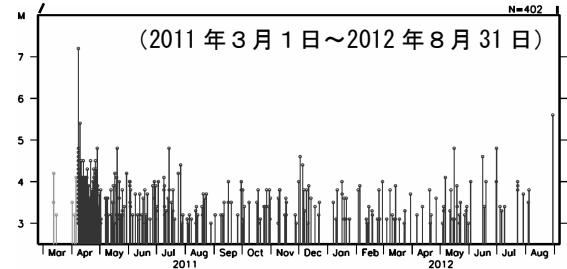
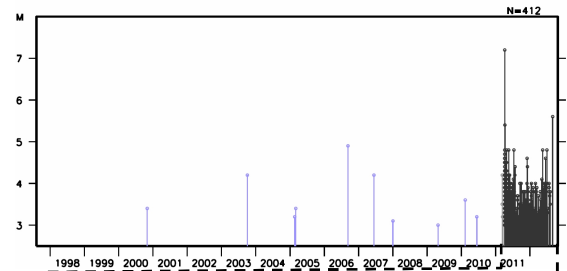
(1923年1月1日～2012年8月31日、深さ0～200km、 $M \geq 5.0$)



2012年8月30日04時05分に宮城県沖の深さ60kmで $M5.6$ の地震(最大震度5強)が発生した。この地震により負傷者4人の被害が生じている(8月30日現在、総務省消防庁による)。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では2011年4月7日に $M7.2$ の地震(最大震度6強)が発生した。余震活動は次第に低下してきていたが、2012年に入ってから $M4$ クラス後半の地震が発生するなど、 $M7.2$ の地震が発生する前よりも活発な状態が続いていた。今回の地震はこの余震域内で発生した。この領域で $M5.0$ を超える地震が発生したのは2011年4月以来である。今回の地震の発生後、 $M3.0$ 以上の余震は発生していない(2012年8月末現在)。

領域b内のM-T図*



* 2011年3月13日～5月30日は未処理のデータがある。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1978年宮城県沖地震」($M7.4$ 、最大震度5)など、 $M7.0$ を超える地震がいくつか発生している。

領域c内のM-T図

